



な利用がなされている。

また、歩道内には通りにうるおいをもたらす泉水盤や十二個の星座盤を設置し、中心商店街に不足していた遊びの空間を創出している。整備後は路上ジャズやファミリーマーケット、路上結婚式などが行われ、コミュニティ空間としてさまざま

「市道七日町片町線コミュニティ道路」は、市街地中心部の道路を整備したもので、約八メートルという狭い幅員を有効に活用するため、電線類の地中化を行って空間にゆとりをつくり、路面全体をブロック舗装にした。また、歩道と車道を分離させるために一方通行とし、分離させた車道は山形市を流れる馬見ヶ崎川を表現して蛇行させ、歩道は市の花であるベニバナをイメージしたピンク系の色を使い、無散水消雪装置を設けている。

DATA・BOARD 66

- ①山形県山形市七日町2丁目
- ②延長：206m、幅員：7.5～9.5m
- ③泉水盤、星座盤、消雪設備
- ④平板ブロック、インターロッキングブロックほか
- ⑤地域のイベント会場



66 市道七日町片町線コミュニティ道路

●コミュニティ部門